

株 主 各 位

静岡県富士宮市上井出2266番地
株式会社エッチ・ケー・エス
代表取締役社長 赤池 龍記

第43期定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご支援を賜り誠にありがとうございます。

さて、当社第43期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができませんので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成28年11月28日（月曜日）午後5時30分までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成28年11月29日（火曜日）午前10時
 2. 場 所 静岡県富士宮市北山7181番地
当社本社工場4号棟3階会議室
(末尾の株主総会会場ご案内図をご参照ください。)
 3. 目的事項
報告事項
 1. 第43期（平成27年9月1日から平成28年8月31日まで）
事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第43期（平成27年9月1日から平成28年8月31日まで）
計算書類報告の件
- 決議事項
- | | |
|-------|--------------------|
| 第1号議案 | 剰余金処分の件 |
| 第2号議案 | 取締役4名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査役1名選任の件 |
| 第4号議案 | 退任取締役に対する退職慰労金贈呈の件 |

以 上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

本招集ご通知に際して提供すべき書類のうち、「業務の適正を確保するための体制」「連結計算書類の連結注記表」「計算書類の個別注記表」につきましては当社ウェブサイト（<http://www.hks-power.co.jp/>）に掲載しておりますので、本添付書類には記載しておりません。したがって、本招集ご通知の添付書類は、監査報告を作成するに際し、監査役および会計監査人が監査をした対象の一部であります。

なお、株主総会参考書類、事業報告、連結計算書類および計算書類に修正が生じた場合には、インターネット上の当社ウェブサイト（<http://www.hks-power.co.jp/>）に掲載させていただきます。

## (添付書類)

### 事業報告

(平成27年9月1日から  
平成28年8月31日まで)

## 1. 企業集団の現況

### (1) 当連結会計年度の事業の状況

#### ① 事業の経過および成果

当連結会計年度における我が国経済は、政府による経済政策および日銀の金融政策等を背景に、穏やかな回復基調で推移しておりましたが、昨年末からの円高・株安、国外においては欧州の景気不安・英国のEU離脱問題等が影響し、非常に不安定な状況となっております。為替に関しては、政府予測に反し、大幅な円高となり、当初の目論見から大きく外れ、予測の難しい不透明な状況となりました。

当社グループが所属しております自動車業界におきましては、依然として消費税増税および軽自動車税引き上げによる買い控えから脱却できずにおり、未だ本格回復が見通せない状況となっております。

このような状況下、弊社におきましては、ホンダS660やマツダROADSTER等のスポーツカーが発売されたこともあり、国内アフターパーツ分野の売上高においては前期比で増加となりました。海外においては、為替の影響等もあり、一部売上が増加はしたものの、全体では前期を下回る結果となりました。アフターパーツ以外の分野では、開発受託業務が大きく伸びを見せ、前期を上回る結果となりました。また、ガソリンとCNGとを併用して走行することができるBi-Fuel車改造事業は前期を上回りましたが、ディーゼルエンジンを天然ガスエンジンに改造するCNG事業、および水上バイク用スーパーチャージャーにおいては、いずれも前期を下回りました。この結果、当連結会計年度における連結売上高は7,336百万円（前期比4.4%増）となりました。

損益面では、売上高が伸長したこと、アフターパーツ売上の増加により売上総利益率が前期比1.6%増加したこと、販売費及び一般管理費が前期と同水準だったこと等により、営業利益は477百万円（前期比92.5%増）となり、為替が前期末に比べて円高に進んだことから為替差損72百万円の計上等により経常利益は436百万円（前期比25.8%増）となりました。また、補助金収入166百万円の特利益への計上等により、親会社株主に帰属する当期純利益は382百万円（前期比67.2%増）となりました。

② 設備投資の状況

当連結会計年度において実施した企業集団の設備投資額は987百万円であり、その主なものは、当社における自動車部品の生産・加工設備等であります。なお、その所要資金は自己資金および銀行借入でまかなっております。

③ 資金調達の状況

当連結会計年度において設備投資に必要な資金、その他所要資金は銀行借入および手許資金によって充当しております。また、当連結会計年度において募集株式発行および社債発行等の資金調達は行っておりません。

④ 事業の譲渡、吸収分割または新設分割の状況

該当事項はありません。

⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

該当事項はありません。

⑥ 吸収合併または吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

⑦ 他の会社の株式その他の持分または新株予約権等の取得または処分の状況

該当事項はありません。

(2) 直前3事業年度の財産および損益の状況

| 項 目                           | 第 40 期<br>平成25年 8 月期 | 第 41 期<br>平成26年 8 月期 | 第 42 期<br>平成27年 8 月期 | 第 43 期<br>平成28年 8 月期 |
|-------------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 売 上 高 (百万円)                   | 7,253                | 7,336                | 7,026                | 7,336                |
| 経 常 利 益 (百万円)                 | 502                  | 443                  | 346                  | 436                  |
| 親会社株主に帰属する<br>当 期 純 利 益 (百万円) | 188                  | 271                  | 228                  | 382                  |
| 1 株当たり当期純利益 (円)               | 47.08                | 68.01                | 59.13                | 103.90               |
| 純 資 産 (百万円)                   | 7,877                | 8,142                | 8,279                | 8,288                |
| 1 株当たり純資産額 (円)                | 1,966.20             | 2,030.95             | 2,219.71             | 2,284.93             |
| 総 資 産 (百万円)                   | 10,529               | 11,118               | 10,881               | 11,972               |

(注) 1. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、当連結会計年度より、「当期純利益」を「親会社株主に帰属する当期純利益」としております。

2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数(自己株式数を控除した株式数)により算出しております。

### (3) 重要な親会社および子会社の状況

#### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

#### ② 重要な子会社の状況

| 会 社 名                            | 資 本 金             | 議決権比率          | 主 要 な 事 業 内 容 |
|----------------------------------|-------------------|----------------|---------------|
| HKS EUROPE LIMITED               | 千英ポンド<br>573      | 100.0          | 自動車関連部品の販売    |
| HKS(Thailand)Co.,Ltd.<br>(注) 1、2 | 千タイバーツ<br>8,000   | 49.0<br>[51.0] | 自動車関連部品の販売    |
| HKS-IT Co.,Ltd.                  | 千タイバーツ<br>120,000 | 100.0          | 自動車関連部品の製造・販売 |
| 艾馳楷吋(上海)貿易有限公司                   | 千円<br>30,000      | 100.0          | 自動車関連部品の販売    |
| 日生工業株式会社                         | 千円<br>99,000      | 100.0          | 自動車関連部品の加工    |
| 株式会社エッチ・ケー・エス<br>テクニカルファクトリー     | 千円<br>40,000      | 100.0          | 自動車関連部品の販売    |

(注) 1. 議決権の所有割合の [ ] 内は、緊密な者または同意している者の所有割合で外数となっております。

2. 持分は100分の50以下であります、実質的に支配しているため子会社としたものであります。

### (4) 対処すべき課題

当社は、継続的な成長を目指すため、対処すべき課題（経営目標）を以下のとおり設けており、その実現のための各種施策を展開してまいります。

#### ①新事業を収益の柱に育てます。

次世代技術の研究・開発に取り組めます。

#### ②アフターパーツ分野で新たな価値を創造します。

SUV向けの製品の開発、ハードパーツ・サスペンションに重点をおいた開発を行います。

#### ③工場の生産性をアップします。

機械の稼働率、一人当たりの生産性向上を重点取り組みとします。

#### ④品質目標に「世界の四輪・二輪メーカーおよびお客様に信頼されるHKSブランド完成への挑戦」を掲げ、品質保証体制の確立に向け、グループ全体でのISO継続維持および改善を目指します。

(5) 主要な事業内容 (平成28年8月31日現在)

当社グループは、アフターマーケット向け自動車部品および軽量小型エンジン等の製造および販売を行っております。

主要な品目は、次のとおりであります。

| 区 分             | 主 要 品 目                                                  |
|-----------------|----------------------------------------------------------|
| 自 動 車 部 品       | マフラー、電子関連製品、ターボ関連製品、サスペンション関連製品、用品関連製品、エンジン関連製品、NGV関連製品等 |
| 軽 量 小 型 エ ン ジ ン | 軽量小型飛行機用エンジン                                             |

(6) 主要な営業所および工場 (平成28年8月31日現在)

|                              |                            |
|------------------------------|----------------------------|
| 当 社                          | 本社：静岡県富士宮市上井出2266番地        |
|                              | 工場：本社工場（富士宮市）、富士宮工場        |
|                              | 営業所：東京（埼玉県戸田市）、名古屋、大阪（箕面市） |
|                              | サービスセンター：テクニカルファクトリー札幌     |
| HKS EUROPE LIMITED           | 英国ケンブリッジシャー州               |
| HKS(Thailand)Co.,Ltd.        | タイ国サムットプラカーン県              |
| HKS-IT Co.,Ltd.              | タイ国サムットプラカーン県              |
| 艾馳楷时（上海）貿易有限公司               | 中国上海市                      |
| 日生工業株式会社                     | 埼玉県本庄市                     |
| 株式会社エッチ・ケー・エス<br>テクニカルファクトリー | 埼玉県戸田市                     |

(7) 使用人の状況 (平成28年8月31日現在)

① 企業集団の使用人の状況

| 使用人数（名）  | 前連結会計年度末比増減（名） |
|----------|----------------|
| 317 (55) | +1 (△2)        |

(注) 使用人数は就業員数であり、パートおよびアルバイトは（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。

② 当社の使用人の状況

| 使用人数（名）  | 前期末比増減（名） | 平均年齢   | 平均勤続年数 |
|----------|-----------|--------|--------|
| 229 (46) | △1 (△2)   | 39歳6ヶ月 | 15年4ヶ月 |

(注) 使用人数は就業員数であり、パートおよびアルバイトは（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。

(8) 主要な借入先の状況 (平成28年8月31日現在)

| 借 入 先                     | 借 入 額    |
|---------------------------|----------|
| 株 式 会 社 静 岡 銀 行           | 1,213百万円 |
| 株 式 会 社 三 菱 東 京 U F J 銀 行 | 300百万円   |
| 株 式 会 社 山 梨 中 央 銀 行       | 38百万円    |

(9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の状況

### (1) 株式の状況（平成28年8月31日現在）

- ① 発行可能株式総数 19,562,000株
- ② 発行済株式の総数 4,000,000株（自己株式392,966株を含む）
- ③ 株主数 356名
- ④ 大株主（上位10名）

| 株 主 名                 | 所 有 株 式 数 | 持 株 比 率 |
|-----------------------|-----------|---------|
| 株 式 会 社 ア ポ ロ         | 1,588千株   | 44.0%   |
| 株 式 会 社 静 岡 銀 行       | 170       | 4.7     |
| 東京海上日動火災保険株式会社        | 135       | 3.7     |
| 長 谷 川 浩 之             | 130       | 3.6     |
| 株 式 会 社 山 梨 中 央 銀 行   | 130       | 3.6     |
| 静 岡 キ ャ ピ タ ル 株 式 会 社 | 98        | 2.7     |
| 山 本 衛                 | 93        | 2.6     |
| H K S 従 業 員 持 株 会     | 92        | 2.6     |
| 北 川 五 一               | 88        | 2.4     |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行         | 84        | 2.3     |

- (注) 1. 持株比率は（自己株式392,966株）を控除して計算しております。
2. 株式会社アポロは当社代表取締役社長長谷川浩之が代表取締役を務める資産管理会社であります。

### (2) 新株予約権等の状況

- ① 当事業年度末日において当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権の状況  
該当事項はありません。
- ② 当事業年度中に職務執行の対価として使用人等に対し交付した新株予約権の状況  
該当事項はありません。

### (3) 会社役員 の 状況

#### ① 取締役および監査役の状況（平成28年8月31日現在）

| 会社における地位 | 氏名     | 担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                 |
|----------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長  | 長谷川 浩之 | HKS EUROPE LIMITED取締役社長<br>HKS(Thailand)Co.,Ltd.取締役社長<br>HKS SP Ltd.取締役社長<br>HKS-IT Co.,Ltd.取締役社長<br>艾馳楷時(上海)貿易有限公司董事長<br>日生工業株式会社代表取締役社長<br>株式会社エッチ・ケー・エス テクニカルファクトリー代表取締役社長 |
| 取締役      | 赤池 龍記  | 製造部長                                                                                                                                                                          |
| 取締役      | 水口 大輔  | 事業開発部長                                                                                                                                                                        |
| 取締役      | 坂詰 達也  | 自動車開発部長                                                                                                                                                                       |
| 取締役      | 川北 真也  | 営業部長                                                                                                                                                                          |
| 常勤監査役    | 北根 幸道  |                                                                                                                                                                               |
| 監査役      | 植松 敏光  |                                                                                                                                                                               |
| 監査役      | 山本 昭明  | 株式会社山本ブランドデザイン研究所<br>代表取締役社長                                                                                                                                                  |

- (注) 1. 常勤監査役 北根幸道氏、監査役 植松敏光氏および山本昭明氏は社外監査役であります。
2. 監査役 植松敏光氏は東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。

#### ② 事業年度中に退任した取締役

| 氏名    | 退任日         | 退任事由 | 退任時の地位・担当および重要な兼職の状況 |
|-------|-------------|------|----------------------|
| 石川 敏明 | 平成27年10月22日 | 辞任   | 常務取締役社長室長            |

#### ③ 責任限定契約の内容の概要

当社と各社外監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。当該契約に基づく賠償責任限度額は、法令に定める最低責任限度額となっております。

④ 取締役および監査役の報酬等の総額

| 区 分                | 支 給 人 員    | 支 給 額          |
|--------------------|------------|----------------|
| 取 締 役              | 6名         | 50百万円          |
| 監 査 役<br>(うち社外監査役) | 3名<br>(3名) | 7百万円<br>(7百万円) |
| 合 計                | 9名         | 58百万円          |

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。  
 2. 支給額には、当事業年度に計上した役員退職慰労引当額を含めております。  
 3. 取締役の報酬限度額は、平成8年11月26日開催の定時株主総会決議において年額204百万円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）と決議いただいております。  
 4. 監査役の報酬限度額は、平成8年11月26日開催の定時株主総会決議において年額36百万円以内と決議いただいております。  
 5. 上記の他、平成27年11月27日開催の定時株主総会決議に基づき、役員退職慰労金を退任取締役1名に対して7百万円支給しております。

⑤ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の重要な兼職状況および当社と当該他の法人等との関係  
 監査役 山本昭明氏が代表取締役社長を務める株式会社山本ブランドデザイン研究所と当社との間に、コンサルタント業務契約を締結しております。

ロ. 当事業年度における主な活動状況

|                | 活動状況                                                                                                           |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 常勤<br>監査役 北根幸道 | 当事業年度に開催された取締役会14回全てに出席し、監査役会12回全てに出席いたしました。企業経営に関しての幅広い経験から、取締役会および監査役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するため助言・提言を行っております。     |
| 監査役 植松敏光       | 当事業年度に開催された取締役会14回全てに出席し、監査役会12回全てに出席いたしました。企業経営に関しての幅広い経験から、取締役会および監査役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するため助言・提言を行っております。     |
| 監査役 山本昭明       | 当事業年度に開催された取締役会14回中13回に出席し、監査役会12回中11回に出席いたしました。企業経営に関しての幅広い経験から、取締役会および監査役会の意思決定の妥当性・適正性を確保するため助言・提言を行っております。 |

⑥ 社外取締役を置くことが相当でない理由

当社は、グループ全体でも従業員が300人程度の決して大きいとはいえない会社規模であり、自動車のチューニングパーツという限定された市場での開発・生産をメインに業務を行っております。

このような環境下、当社の取締役会は、迅速・タイムリーな意思決定を行うことを第一に考え、現場に精通した社内取締役によって構成されるべきと考えております。

当社において社外取締役を置いたとしても、当社事業および当社組織を熟知されない中で経営の様々な判断を行うことは、迅速な意思決定が阻害されるおそれがあり、またコスト面でも非効率となることから、当社としては社外取締役を置くことは相当でないと考えております。

(4) 会計監査人の状況

① 名称 芙蓉監査法人

② 報酬等の額

|                          | 支払額   |
|--------------------------|-------|
| イ. 会計監査人の報酬等の額           | 20百万円 |
| ロ. 会社および子会社が支払うべき金銭等の合計額 | 20百万円 |

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を区分しておらず、実質的にも区分できないため、上記イ.の金額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況および報酬見積もりの算出根拠などが適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

③ 会計監査人の解任または不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意により、会計監査人を解任いたします。

また、監査役会は、会計監査人が職務を適正に遂行することが困難と認められる場合には、株主総会に提出する会計監査人の解任または不再任に関する議案の内容を決定いたします。



# 連結損益計算書

(平成27年9月1日から  
平成28年8月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                | 金 額       |
|--------------------|-----------|
| 売上高                | 7,336,391 |
| 売上原価               | 4,507,874 |
| 売上総利益              | 2,828,516 |
| 販売費及び一般管理費         | 2,350,964 |
| 営業利益               | 477,552   |
| 営業外収益              | 42,582    |
| 受取利息配当金            | 19,242    |
| 受取賃貸料              | 5,487     |
| スクラップ売却益           | 2,457     |
| 貸倒引当金戻入額           | 2,647     |
| その他                | 12,747    |
| 営業外費用              | 83,647    |
| 支払利息               | 9,987     |
| 為替差損               | 72,200    |
| その他                | 1,458     |
| 経常利益               | 436,487   |
| 特別利益               | 177,255   |
| 固定資産売却益            | 173       |
| 補助金取入              | 166,229   |
| 保険返戻金              | 10,853    |
| 特別損失               | 1,586     |
| 固定資産売却損            | 715       |
| 固定資産除却損            | 778       |
| 投資有価証券評価損          | 93        |
| 税金等調整前当期純利益        | 612,156   |
| 法人税、住民税及び事業税       | 206,720   |
| 法人税等調整額            | 28,779    |
| 当期純利益              | 376,655   |
| 非支配株主に帰属する当期純損失(△) | △5,988    |
| 親会社株主に帰属する当期純利益    | 382,644   |

# 連結株主資本等変動計算書

(平成27年9月1日から  
平成28年8月31日まで)

(単位：千円)

|                                | 株 主 資 本 |         |           |          |           |
|--------------------------------|---------|---------|-----------|----------|-----------|
|                                | 資 本 金   | 資本剰余金   | 利益剰余金     | 自 己 株 式  | 株主資本合計    |
| 平成27年9月1日残高                    | 878,750 | 963,000 | 6,458,725 | △221,104 | 8,079,370 |
| 当連結会計年度中の変動額                   |         |         |           |          |           |
| 剰余金の配当                         |         |         | △44,412   |          | △44,412   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益            |         |         | 382,644   |          | 382,644   |
| 自己株式の取得                        |         |         |           | △84,996  | △84,996   |
| 株主資本以外の項目の当連結会計<br>年度中の変動額(純額) |         |         |           |          |           |
| 当連結会計年度中の変動額合計                 | －       | －       | 338,231   | △84,996  | 253,235   |
| 平成28年8月31日残高                   | 878,750 | 963,000 | 6,796,957 | △306,100 | 8,332,606 |

|                                | そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 |          |                   | 非支配株主持分 | 純資産合計     |
|--------------------------------|-----------------------|----------|-------------------|---------|-----------|
|                                | その他有価証券評価差額金          | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益<br>累計額合計 |         |           |
| 平成27年9月1日残高                    | 81,251                | 54,626   | 135,878           | 64,739  | 8,279,988 |
| 当連結会計年度中の変動額                   |                       |          |                   |         |           |
| 剰余金の配当                         |                       |          |                   |         | △44,412   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益            |                       |          |                   |         | 382,644   |
| 自己株式の取得                        |                       |          |                   |         | △84,996   |
| 株主資本以外の項目の当連結会計<br>年度中の変動額(純額) | △49,811               | △176,827 | △226,639          | △17,584 | △244,224  |
| 当連結会計年度中の変動額合計                 | △49,811               | △176,827 | △226,639          | △17,584 | 9,011     |
| 平成28年8月31日残高                   | 31,439                | △122,200 | △90,761           | 47,154  | 8,288,999 |

# 貸借対照表

(平成28年8月31日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部  |             | 負 債 の 部      |             |
|----------|-------------|--------------|-------------|
| 科 目      | 金 額         | 科 目          | 金 額         |
| 流動資産     | (5,351,767) | 流動負債         | (1,996,930) |
| 現金及び預金   | 1,330,726   | 支払手形         | 86,218      |
| 受取手形     | 119,022     | 営業外支払手形      | 72,710      |
| 売掛金      | 1,264,727   | 買掛金          | 553,834     |
| 有価証券     | 799,945     | 短期借入金        | 450,000     |
| 製品       | 940,690     | 1年内返済予定長期借入金 | 120,048     |
| 仕掛品      | 173,456     | 未払金          | 266,420     |
| 原材料及び貯蔵品 | 540,088     | 未払費用         | 23,799      |
| 前払費用     | 25,204      | 未払法人税等       | 167,875     |
| 繰延税金資産   | 65,278      | 未払消費税等       | 19,201      |
| 未収入金     | 20,879      | 前受金          | 7,428       |
| その他の金    | 74,500      | 預り金          | 162,902     |
| 貸倒引当金    | △2,754      | 賞与引当金        | 66,491      |
| 固定資産     | (5,688,082) | 固定負債         | (1,318,417) |
| 有形固定資産   | (4,028,412) | 長期借入金        | 893,160     |
| 建物       | 899,912     | 退職給付引当金      | 286,667     |
| 構築物      | 234,201     | 役員退職慰勞引当金    | 134,110     |
| 機械装置     | 867,376     | 資産除去債務       | 4,480       |
| 車両運搬具    | 40,253      | 負債合計         | 3,315,348   |
| 工具器具備品   | 88,181      | 純 資 産 の 部    |             |
| 土地       | 1,764,372   | 株主資本         | (7,692,549) |
| 建設仮勘定    | 133,327     | 資本金          | (878,750)   |
| その他      | 787         | 資本剰余金        | (963,000)   |
| 無形固定資産   | (92,614)    | 資本準備金        | 963,000     |
| ソフトウェア   | 79,761      | 利益剰余金        | (6,156,900) |
| 電話加入権    | 12,646      | 利益準備金        | 42,187      |
| その他      | 206         | その他利益剰余金     | (6,114,713) |
| 投資その他の資産 | (1,567,055) | 固定資産圧縮積立金    | 95,929      |
| 投資有価証券   | 589,676     | 別途積立金        | 5,439,000   |
| 関係会社株式   | 856,614     | 繰越利益剰余金      | 579,783     |
| 長期貸付金    | 65,380      | 自己株式         | (△306,100)  |
| 破産債権等    | 12,484      | 評価・換算差額等     | (31,952)    |
| 長期前払費用   | 13,826      | その他有価証券評価差額金 | 31,952      |
| 繰延税金資産   | 45,396      | 純資産合計        | 7,724,502   |
| その他の金    | 40,715      | 負債・純資産合計     | 11,039,850  |
| 貸倒引当金    | △57,038     |              |             |
| 資産合計     | 11,039,850  |              |             |

# 損 益 計 算 書

(平成27年9月1日から  
平成28年8月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額       |
|--------------|-----------|
| 売上高          | 6,094,295 |
| 売上原価         | 3,605,550 |
| 売上総利益        | 2,488,745 |
| 販売費及び一般管理費   | 2,110,656 |
| 営業利益         | 378,088   |
| 営業外収益        | 44,272    |
| 受取利息配当金      | 6,841     |
| 有価証券利息       | 9,261     |
| 受取賃貸料        | 2,892     |
| 受取事務手数料      | 6,694     |
| スクラップ売却益     | 2,213     |
| 貸倒引当金戻入額     | 7,512     |
| 雑収入          | 8,857     |
| 営業外費用        | 24,710    |
| 支払利息         | 8,919     |
| 為替差損         | 14,793    |
| 雑損失          | 998       |
| 経常利益         | 397,651   |
| 特別利益         | 156,273   |
| 固定資産売却益      | 44        |
| 補助金収入        | 156,229   |
| 特別損失         | 1,575     |
| 固定資産売却損      | 704       |
| 固定資産除却損      | 778       |
| 投資有価証券評価損    | 93        |
| 税引前当期純利益     | 552,348   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 174,755   |
| 法人税等調整額      | 201,283   |
| 当期純利益        | 351,065   |

# 株主資本等変動計算書

(平成27年9月1日から  
平成28年8月31日まで)

(単位：千円)

|                          | 株 主 資 本 |           |             |               |                 |           |          |
|--------------------------|---------|-----------|-------------|---------------|-----------------|-----------|----------|
|                          | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |             | 利 益 剰 余 金     |                 |           |          |
|                          |         | 資本準備金     | 資本剰余金計<br>合 | 利益準備金         | そ の 他 利 益 剰 余 金 |           |          |
|                          |         |           |             | 固定資産圧縮積立<br>金 | 別途積立金           |           |          |
| 平成27年9月1日残高              | 878,750 | 963,000   | 963,000     | 42,187        | -               | 5,439,000 | 369,060  |
| 当事業年度中の変動額               |         |           |             |               |                 |           |          |
| 剰余金の配当                   |         |           |             |               |                 |           | △44,412  |
| 固定資産圧縮積立<br>金の積立         |         |           |             |               | 107,440         |           | △107,440 |
| 固定資産圧縮積立<br>金の取崩         |         |           |             |               | △11,510         |           | 11,510   |
| 当期純利益                    |         |           |             |               |                 |           | 351,065  |
| 自己株式の取得                  |         |           |             |               |                 |           |          |
| 株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額) |         |           |             |               |                 |           |          |
| 当事業年度中の変動額合計             | -       | -         | -           | -             | 95,929          | -         | 210,723  |
| 平成28年8月31日残高             | 878,750 | 963,000   | 963,000     | 42,187        | 95,929          | 5,439,000 | 579,783  |

|                          | 株 主 資 本     |          |           | 評 価 ・ 換 算 差 額 等  |                | 純資産合計     |
|--------------------------|-------------|----------|-----------|------------------|----------------|-----------|
|                          | 利益剰余金計<br>合 | 自己株式     | 株主資本合計    | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算差額<br>等合計 |           |
| 平成27年9月1日残高              | 5,850,247   | △221,104 | 7,470,892 | 80,342           | 80,342         | 7,551,235 |
| 当事業年度中の変動額               |             |          |           |                  |                |           |
| 剰余金の配当                   | △44,412     |          | △44,412   |                  |                | △44,412   |
| 固定資産圧縮積立<br>金の積立         | -           |          | -         |                  |                | -         |
| 固定資産圧縮積立<br>金の取崩         | -           |          | -         |                  |                | -         |
| 当期純利益                    | 351,065     |          | 351,065   |                  |                | 351,065   |
| 自己株式の取得                  |             | △84,996  | △84,996   |                  |                | △84,996   |
| 株主資本以外の項目の当事業年度中の変動額(純額) |             |          |           | △48,390          | △48,390        | △48,390   |
| 当事業年度中の変動額合計             | 306,652     | △84,996  | 221,656   | △48,390          | △48,390        | 173,266   |
| 平成28年8月31日残高             | 6,156,900   | △306,100 | 7,692,549 | 31,952           | 31,952         | 7,724,502 |

# 連結計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成28年10月17日

株式会社エッチ・ケー・エス  
取締役会 御中

芙蓉監査法人

指定社員 公認会計士 鈴木 潤 (印)  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 鈴木 岳 (印)  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社エッチ・ケー・エスの平成27年9月1日から平成28年8月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検査する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検査することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社エッチ・ケー・エス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成28年10月17日

株式会社エッチ・ケー・エス  
取締役会 御中

芙蓉監査法人

指定社員 公認会計士 鈴木 潤 (印)  
業務執行社員

指定社員 公認会計士 鈴木 岳 (印)  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社エッチ・ケー・エスの平成27年9月1日から平成28年8月31日までの第43期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成27年9月1日から平成28年8月31日までの第43期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

(1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

(2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。

① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。

② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。

③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその付属明細、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実  
は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該  
内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、  
指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人芙蓉監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人芙蓉監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成28年10月24日

株式会社エッチ・ケー・エス 監査役会

常勤監査役 北 根 幸 道 ⑩

監 査 役 植 松 敏 光 ⑩

監 査 役 山 本 昭 明 ⑩

(注) 監査役 北根幸道、植松敏光及び山本昭明は、社外監査役であります。

以 上

# 株主総会参考書類

## 議案および参考事項

### 第1号議案 剰余金処分の件

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識し、配当金につきましては、継続的な安定配当を基本とし、業績および配当性向等を総合的に勘案して決定しております。

上記の方針に基づき第43期の期末配当につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

#### 期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 配当財産の割当に関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき金15円                      総額 54,105,510円

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

平成28年11月30日

## 第2号議案 取締役4名選任の件

取締役水口大輔および坂詰達也の両氏は、本総会終結の時をもって任期満了となります。また、経営体制の強化を図るため取締役2名を増員することとし、取締役4名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                     | 略歴、地位、担当および重要な兼職の状況                                                               | 所有する当社株<br>式数 |
|-------|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| 1     | みずくちだいすけ<br>水口大輔<br>(昭和44年10月8日) | 平成5年4月 当社入社<br>平成23年6月 当社CNG開発部（現事業開発部）長（現任）<br>平成24年11月 当社取締役（現任）                | 1,000株        |
| 2     | さかづめたつや<br>坂詰達也<br>(昭和36年11月25日) | 昭和62年8月 当社入社<br>平成24年2月 当社電子制御開発部長<br>平成26年7月 当社自動車開発部長（現任）<br>平成26年11月 当社取締役（現任） | 10,000株       |
| ※3    | きたがわごいち<br>北川五一<br>(昭和23年7月16日)  | 平成6年3月 当社入社<br>平成6年10月 当社取締役<br>平成6年10月 当社エンジン事業部長<br>平成9年11月 当社常務取締役             | 88,000株       |
| ※4    | たかねざわすすむ<br>高根澤進<br>(昭和55年8月1日)  | 平成27年4月 当社入社<br>平成27年4月 当社管理部長（現任）<br>平成27年11月 当社社長室長（現任）                         | —             |

(注) 1. ※印は、新任の取締役候補者であります。

2. 各取締役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。
3. 社外取締役を置くことが相当でない理由

当社は、グループ全体でも従業員が300人程度の決して大きいとはいえない会社規模であり、自動車のチューニングパーツという限定された市場での開発・生産をメインに業務を行っております。

このような環境下、当社の取締役会は、迅速・タイムリーな意思決定を行うことを第一に考え、現場に精通した社内取締役によって構成されるべきと考えております。

当社において社外取締役を置いたとしても、当社事業および当社組織を熟知されない中で経営の様々な判断を行うことは、迅速な意思決定が阻害されるおそれがあり、またコスト面でも非効率となることから、当社としては社外取締役を置くことは相当でないと考えております。

### 第3号議案 監査役1名選任の件

監査役山本昭明氏は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、監査役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ています。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| 氏名<br>(生年月日)                        | 略歴、地位および重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                       | 所有する当社株数 |
|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| やまもと てる あき<br>山本昭明<br>(昭和22年12月14日) | 昭和47年4月 エバエース（現PIAA株式会社）入社<br>昭和62年4月 P I A Aデザイン株式会社代表取締役社長<br>昭和63年6月 P I A A株式会社常務取締役<br>平成元年6月 同社代表取締役副社長<br>平成3年6月 同社代表取締役社長<br>平成19年3月 株式会社山本ブランドデザイン研究所設立 同社代表取締役社長（現任）<br>平成24年11月 当社社外監査役（現任） | —        |

- (注) 1. 山本昭明氏が代表取締役を務める株式会社山本ブランドデザイン研究所と当社との間に、コンサルタント業務契約を締結しております。
2. 山本昭明氏は社外監査役候補者であります。
3. 山本昭明氏を社外監査役候補者とした理由は、企業経営に関して幅広い経験と知見を有しており、社外監査役として当社の経営監視体制の充実に寄与していただくためであります。
4. 山本昭明氏は、現在、当社の社外監査役であります。監査役としての在任期間は、本総会終結の時をもって4年となります。
5. 当社は、山本昭明氏との間で会社法第427条第1項の規定による責任限定契約を法令の限度内で締結しております。当該契約に基づく賠償責任限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額となっております。同氏が再任された場合には、同氏との間で当該契約を継続する予定であります。

#### 第4号議案 退任取締役に対する退職慰労金贈呈の件

平成28年11月9日に逝去により取締役を退任された故長谷川浩之氏に対し、在任中の労に報いるため、当社の定める内規に基づき、相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈いたしたいと存じます。

なお、その具体的な金額、贈呈の時期および方法等は取締役会にご一任願いたいと存じます。

退任取締役の略歴は次のとおりであります。

| 氏 名                          | 略 歴                 |
|------------------------------|---------------------|
| は せ が わ ひ ろ け い<br>長 谷 川 浩 之 | 昭和48年10月 当社取締役就任    |
|                              | 昭和55年1月 当社代表取締役就任   |
|                              | 昭和56年5月 当社代表取締役社長就任 |
|                              | 平成28年11月 逝去により退任    |

以 上

